

研究課題番号	5MF-2302
研究課題名	自発性摂餌開始前メダカ仔魚を用いた甲状腺ホルモン系内分泌攪乱作用の新規 in vivo スクリーニングと有害性評価法の検討：生態リスク評価のための両生類試験との相関性
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	静岡県立大学
研究代表者名	小林 亨

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

エストロゲンによる卵黄前駆物質 vtg の発現誘導が甲状腺ホルモン TH による肝臓へのプライミングを必要とすることを利用し、メダカふ化仔魚（自発摂餌前）の vtg 応答系を用いて、TH 内分泌かく乱作用を示す化学物質検出系を構築するとともに、TH 内分泌かく乱による新規有害性影響の探索を試みるもので、エストロゲンと TH 活性を有する化合物への複合曝露影響を評価できる試験系として興味深く、進捗は順調である。甲状腺ホルモン受容体 TR を介する vtg 以外の応答系の検討や、TR とエストロゲン受容体 ER の二つの受容体間のクロストークや両ホルモンの相互作用の検討が必要ではないか。下水処理施設で生成が示唆されている TH アナログの検出への応用などに期待する。論文等成果の公表を期待したい。